

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	塵芥収集車購入事業	松阪市	4,400,000	4,400,000	総事業費 6,578,000円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	塵芥収集車購入事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		松阪市	
交付金事業実施場所		松阪市リサイクルセンター（松阪市町平尾町）	
交付金事業の概要		車両購入後17年経過、走行距離20万km以上を目途に車両を買い替えることとする車両買い替え10か年計画に従って買い替えを行い、収集運搬業務の安全性を確保します。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		（交付金事業に係る主要政策・施策） 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成29年度～平成43（2031）年度） 第4章 ごみ処理基本計画の策定 第5節 ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項 5-1 収集・運搬計画 1) 収集・運搬方法 老朽化した塵芥収集車等を買替えることにより、収集運搬業務の効率化と作業環境の改善、作業員の安全性を確保し、収集車の稼働率を維持することで清掃事業の円滑な遂行及び快適な生活環境の向上を図ります。 また、市民にごみについて考えてもらう取り組みとして、小学校や市リサイクルセンターにて塵芥収集車を使った「合同体験学習」を実施しており、購入予定車を使用して小学生や市民へのごみ減量の啓発を進めます。 目標：令和4年度新車両稼働率を82%以上 ※新車両の稼働率：収集業務・ごみ減量の啓発業務の稼働日数/全業務日数 現状：令和2年度新車両稼働率 80%	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		令和3年度	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和5年度
	新車両の稼働 率82%以上	稼働率 ごみ収集業務・ごみ減 量の啓発業務に新車両 を使用した日数÷全業 務日数	成果実績	%				
			目標値	%	82			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	令和4年度より当該新車両が稼働し、翌年度が評価測定可能となる為							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	塵芥収集車の購入台数		活動実績	台	3	1	1	
			活動見込	台	3	1	1	
			達成度	%	100	100	100	
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	令和2年度		令和3年度		備 考		
総事業費	21,187,249	8,029,700		6,578,000				
交付金充当額	4,400,000	4,400,000		4,400,000				
うち文部科学省分	0	0						
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000		4,400,000				
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
塵芥収集車購入		条件付き一般競争入札		三重日野自動車(株) 津支店 (津市)		6,578,000		
交付金事業の担当課室		三重県雇用経済部新産業振興課						
交付金事業の評価課室		三重県雇用経済部新産業振興課						

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	一般廃棄物運搬車 （2 t プレス車）購入事業	尾鷲市	5,746,000	5,746,000	総事業費 5,772,800円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	一般廃棄物運搬車（2 t プレズ車）購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		尾鷲市		
交付金事業実施場所		三重県尾鷲市古戸町		
交付金事業の概要		老朽化した一般廃棄物運搬車（2 t プレズ車）を更新し、作業の効率化や安全安心な作業環境を確保します。		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 第6次尾鷲市総合計画（平成27年度～令和3年度） 基本方針Ⅴ みんながいきいきと快適に暮らせる町 2 快適な生活環境の創造 521 資源循環型社会の推進 施策の目的 ごみの発生抑制・再使用・再利用が進んだ、環境に負荷をかけない町		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度		
	資源ごみ収集 作業車両数 12台の維持	資源ごみ収集 作業車両数	成果実績	台	12		
			目標値	台	12		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定理由						
	事業実施年度に評価を実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	老朽化した車両の故障等により収集に支障が生じることが頻繁に起こっていましたが、交付金事業により、車両の更新で作業環境の安心安全や作業効率が高まりました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	資源ごみ収集作業車両購入台数		活動実績	台	2	2	1
			活動見込	台	2	2	1
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度		令和3年度		備 考	
総事業費	8,621,800	7,931,000		5,772,800			
交付金充当額	5,667,000	5,667,000		5,746,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	5,667,000	5,667,000		5,746,000			
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額	
	物品購入	一般競争入札		三重日野自動車(株)尾鷲営業所（尾鷲市）		5,772,800	
交付金事業の担当課室		三重県雇用経済部新産業振興課					
交付金事業の評価課室		三重県雇用経済部新産業振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化 措置	報徳診療所運営事業	大台町	7,925,000	7,925,000	総事業費 8,521,716円

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	報徳診療所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大台町	
交付金事業実施場所		多気郡大台町江馬 他 1 件	
交付金事業の概要		大台町が運営する診療所の医師 1 名の人件費（令和 3 年 6 月 1 日～令和 3 年 1 2 月 3 1 日分）として、電源立地対策交付金を活用し、継続的に充実した医療サービスを提供することで、住民が安心して生活できる環境づくりに努めています。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第 2 次大台町総合計画(平成 2 9 年度～令和 7 年度) 基本目標 3 いきいき健康・福祉のまちづくり 3－6 医療 2 地域医療の維持 ・報徳診療所と大台厚生病院が連携し、内科系医師による 1 次救急に対応した時間外診療体制を維持するとともに、通院が困難になる場合には、訪問診療により対応するなど、安心して住み続けることができるよう、地域医療体制の維持に努めます。 成果指標：診療体制維持のために確保する診療科数 目 標：3 科（内科・眼科・整形外科）	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		令和3年度	
		第 2 次大台町総合計画の終期まで	

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化 措置	熊野市金山保育所運営事業	熊野市	10,692,000	10,692,000	総事業費 11,832,600円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	熊野市金山保育所運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		熊野市	
交付金事業実施場所		熊野市金山町	
交付金事業の概要		金山保育所の保育士人件費7名（令和3年7月から令和3年12月分の本棒分） 金山保育所は、入所定員180名と大規模保育所であることから、保育士確保に苦慮しているのが現状です。本交付金事業で、入所希望児童数に応じた保育士の配置と待機児童を最小限とするため、正規職員7名を配置する必要があります。	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 第2次熊野市総合計画―前期基本計画― 第2章 保健・医療・福祉の充実 第2節 支え合い助け合う福祉の充実 施策4 子育て支援 ・子育て支援の充実 目標：金山保育所の事故件数および食中毒件数 0件	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		令和3年度	

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化 措置	勢和保育園運営事業	多気町	4,400,000	4,400,000	総事業費： 5,429,400円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	地域活性化措置	勢和保育園運営事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		多気町							
交付金事業実施場所		多気町下出江							
交付金事業の概要		多気町内勢和保育園の保育士人件費（会計年度任用職員４名）６ヶ月分。 多気町は、第２期多気町子ども・子育て支援計画に基づき、電源立地地域対策交付金を活用し、保育サービスの充実に努めています。							
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第２期多気町子ども・子育て支援計画 基本目標１ 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり （１）保育サービスの充実 主な取り組み ①保育サービスの充実 働く親の多様化する職場環境やライフスタイルに対応するため、ニーズの把握に努め、必要に応じた保育サービスの充実に努めます。また、保育サービスの量と質を確保するため、保育士の処遇改善を図るなど、保育士の人材確保に努めます。 （目標）要保育児の入所率 100%							
事業開始年度		令和２年度		事業終了（予定）年度		令和６年度			
事業期間の設定理由		第２期多気町子ども・子育て支援計画の終期まで							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度		令和３年度	
		要保育児の入所率 100%	要保育児の入所率： 入所者数÷要保育児 対象人口×100	成果実績	%	100			
				目標値	%	100			
				達成度	%	100			
		評価年度の設定理由							
		効果を早期に把握するため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
		交付金事業の定性的な成果及び評価等							
		保育士（会計年度任用職員）４名６か月の人件費に交付金を充当し、必要な保育士を確保することができ、要保育児の入所率100%を維持できた。							
		評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無									

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	年度
	保育士の雇用量 (雇用人数 (人) × 雇用期間 (月))	活動実績	月	21	24	
		活動見込	月	21	24	
		達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費 等	令和 2 年度	令和 3 年度		年度	備 考	
総事業費	4, 865, 700	5, 429, 400				
交付金充当額	4, 400, 000	4, 400, 000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4, 400, 000	4, 400, 000				
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額
	会計年度任用職員人件費	雇用		会計年度任用職員 4 名		5, 429, 400
交付金事業の担当課室		雇用経済部新産業振興課				
交付金事業の評価課室		雇用経済部新産業振興課				

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施 設に係る 整備、維 持補修又 は維持運 営等措置	市道梅が丘北中央線道路整備 事業	名張市	4,400,000	4,400,000	総事業費 10,528,100円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道梅が丘北中央線道路整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		名張市	
交付金事業実施場所		名張市 梅が丘北１番町ほか 地内	
交付金事業の概要		名張市大屋戸・梅が丘地内における道路舗装の路面摩耗が著しいため舗装補修します。 施工延長 L = 148.6m W = 5.05m (平均) 表層工 A = 891m ² 基層工 A = 891m ² 不陸整正工 A = 891m ² 撤去工 V = 89m ³ 区画線工 L = 225m	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		新・理想郷プラン(令和２年度～令和７年度) 市内道路網の整備 交通利便性の向上と、円滑で安全な通行を確保するために重要な役割を担う道路について優先的に進めます。 【目標】 総舗装補修予定延長に占める舗装完了延長の割合 27% (令和３年度)	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和7年度
事業期間の設定理由		6カ年計画で実施しているため。	

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度		
	総舗装補修予定延長に占める舗装完了延長の割合 27%	舗装完了延長/総舗装補修予定延長 1104.2m	成果実績	%	27		
			目標値	%	27		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定期限						
	事業完了後に効果を把握するため事業実施年度で評価します。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	名張市梅が丘住宅地内の幹線道路であり、市道整備により、住民生活の利便性の向上を図り発電用施設の運転の円滑化に資することができます。本路線は6カ年計画で実施しており本年度整備したことにより進捗率は27%になり、通行時の危険性や騒音振動等の改善がされました。今後も継続して地域住民に対する車両の安全性・走行性の向上を目指し市道整備を行っていきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の舗装補修工事延長		活動実績	m	84.0	150.3	148.6
			活動見込	m	84.0	150.3	148.6
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度		令和3年度		備 考	
総事業費	11,968,000	10,979,100		10,528,100			
交付金充当額	4,400,000	4,400,000		4,400,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000		4,400,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
道路整備		条件付き一般競争入札		株式会社アサヒ（名張市）		10,528,100	
交付金事業の担当課室		三重県雇用経済部新産業振興課					
交付金事業の評価課室		三重県雇用経済部新産業振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	若者センターホール及び外部 照明器具取替工事	紀北町	4,700,000	4,700,000	総事業費 5,236,000円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	若者センターホール及び外部照明器具取替工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		紀北町	
交付金事業実施場所		三重県北牟婁郡紀北町島原	
交付金事業の概要		若者センターは1986年（昭和61年）に竣工し、35年が経過しております。 竣工以来施設の機器について更新をしておらず、劣化しており、いつ故障してもおかしくない状況です。特に、ホール内スポットライトは照射時間200時間で球の変換が必要なことや、外部照明については支柱や街路灯本体の腐食など、早急に対応する必要があることからLED化を行うものです。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		紀北町第2次総合計画（平成29年度～令和8年度） 第3部前期基本計画 3. 社会教育・青少年健全育成 （2）自主的な学習活動の支援 ③利用者のニーズへの対応や老朽化を踏まえ、公民館、図書室、若者センターなど社会教育活動の拠点となる社会教育施設の整備に努めます。 目標：電気使用量20%削減	
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由		令和3年度	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	エネルギー使用量削減	電気使用量 20%削減	成果実績	%			
			目標値	%	20以上		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業実施の次年度に年間の稼働状況の把握が可能なため						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度		
	照明器具のLED化		活動実績	台	26		
			活動見込	台	26		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備 考		
総事業費	5,236,000						
交付金充当額	4,700,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,700,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
照明器具LED化を行うため		一般競争入札		清川電気工事株式会社（紀北町）		5,236,000	
交付金事業の担当課室		三重県雇用経済部新産業振興課					
交付金事業の評価課室		三重県雇用経済部新産業振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	紀北町多目的広場フェンス修 繕工事	紀北町	5,388,000	5,388,000	総事業費 5,973,000円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	紀北町多目的広場フェンス修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		紀北町		
交付金事業実施場所		三重県北牟婁郡紀北町相賀		
交付金事業の概要		紀北町多目的広場は海山地区の中心的な体育施設であり、毎日多くの方が利用しています。現在、老朽化等によりフェンス本体や基礎部分の損傷が目立ち、今後、フェンスが暴風等により倒れる恐れがありますので、施設利用者、付近を通行する人や自動車等の安全性を確保するため、フェンス全体を修繕します。		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		紀北町第2次総合計画（平成29年度～令和8年度） 第3部前期基本計画 4. スポーツ 3) スポーツ施設の維持・整備 ①各種スポーツ施設について、適正な維持管理と定期的なメンテナンスを行うとともに、整備員による日常管理を徹底し、施設を良好な状態に保ちます。 目標：施設利用者等の安全性の確保		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

別紙

I．事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	海山学校給食管理運営事業	紀北町	1,800,000	1,800,000	総事業費 2,299,000円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	海山学校給食管理運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		紀北町		
交付金事業実施場所		三重県北牟婁郡紀北町相賀		
交付金事業の概要		海山学校給食センターに設置しているトレイ供給装置について、センター稼働時からあるもので18年経過しており、ここ数年は修繕を行いながら作動させてきましたが、操作パネルについては生産中止の為、故障した場合は装置本体の買い替えが必要となります。故障した場合、トレイの供給が手作業となり、洗浄作業に大幅な遅れが生じる恐れがあるため、装置本体を更新するものです。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 紀北町第2次総合計画 前期基本計画（平成29年度～令和3年度） 基本目標4 心豊かに夢を育む教育・文化のまち 2 学校教育 豊かな人間性と社会性を育むとともに、学力の定着と向上のため、教職員の資質の向上を図り、「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和と自然とのふれ合いを重視した教育の充実と、障がいのある子には、能力や可能性を最大限伸ばすことができる特別支援教育を推進します。また、地域に開かれた信頼される学校づくりを促進するとともに、学校施設・設備の整備を行い、安全な学校づくりに努めます。 目標：給食センターにおける安定した給食の提供		
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度
事業期間の設定理由				

